

わたしの議会。



2月8日
伊勢志摩サミット108日前
「花いっぱい歓迎空間づくり」

TOPICS

議案質疑...2

常任委員会報告...3~4

議員別表決結果...5~6

一般質問...6~9

きらり輝く人達、他...10

議会報告

平成 28 年度一般・各特別会計及び水道事業会計の予算ほか、鳥羽市特別職報酬等審議会条例の一部改正についてなど、執行部提案議案 41 件、請願 1 件、議員発議 1 件を審議しました。

・議案質疑・

保健福祉手帳 2 級の医療費助成は



戸上 健

市民課長

10月から実施します

問 福祉医療費助成条例改正の経緯は。

答 市民課長 精神障害者保健福祉手帳の 2 級を所持する方への助成は、鳥羽志摩地域家族会「みしま会」の皆さんと市長が懇談され、その中で特に要望の強かった精神障がい者の方への医療費助成について市長より指示がありました。大変急ではありましたが、関係各課と調整し今回の議案上程となりました。

問 県内市町の実施状況は。

答 市民課長 市単独で拡大して助成しているのは津、四日市、桑名、名張、伊賀の 5 市です。伊勢志摩南勢管内ではありません。

平成 28 年度当初予算の概要

平成 28 年度予算の規模は、一般会計、特別会計及び企業会計で総額 207 億 6922 万円となり、前年度と比べ 3 億 6600 万円（1.8%）の増となっています。

一般会計では、前年度より 11 億 4660 万円（11.3%）増の 112 億 5500 万円となっています。また、特別会計では、前年度より 2 億 6650 万円（3.5%）減の、総額 73 億 9880 万円となり、企業会計では、前年度より 5 億 1410 万円（19.6%）減の、21 億 1542 万円となっています。

全会計当初予算の規模

(単位：千円・%)

	平成 28 年度	平成 27 年度	前年度比較		
			増減額	伸率	
一般会計	11,255,000	10,108,400	1,146,600	11.3	
特別会計	国民健康保険事業	3,664,400	3,604,000	60,400	1.7
	介護保険事業	2,547,600	2,528,000	19,600	0.8
	定期航路事業	548,300	887,500	△ 339,200	△ 38.2
	特定環境保全公共下水道事業	142,300	144,000	△ 1,700	△ 1.2
	後期高齢者医療	496,200	501,800	△ 5,600	△ 1.1
	小計	7,398,800	7,665,300	△ 266,500	△ 3.5
企業会計	水道事業	2,115,420	2,629,520	△ 514,100	△ 19.6
合計	20,769,220	20,403,220	366,000	1.8	

常任委員会報告

● 各常任委員会に 37 議案と 1 請願が付託されました。

総務民生 委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

（議案第48号 鳥羽市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例等の一部改正について）

問 廃止する中央公民館答志分館の建物はどうするのか。

答 現在、公共施設等総合管理計画を策定しており、その計画の中で、施設維持、解体等の方針を決めていきたい。



廃止予定の中央公民館答志分館

（議案第75号 鳥羽市過疎地域自立促進計画の策定について）

問 水産研究所の建設が記載されているが、どのような計画となっているのか。

答 本計画中に位置づけているが、実施年度については、消防庁舎建設など大規模事業を控えていることから、今後、年度間調整といった変更も必要になってくる。

文教産業 委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

（議案第54号 鳥羽市農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部改正について）

問 今回の改正で農業委員の定数16人が、農業委員14人と農地利用適正化推進委員5人を合わせて19人となる。実質増えることは、法の趣旨に反するのではないか。

答 国の基準に則り定数を検討した。月1回農業委員会を開催するほか、現地視察も実施しており、人数減は厳しいとの声が委員からあった。3年の任期満了時に必要性があれば検討したい。

（議案第55号 鳥羽市営住宅管理条例の一部改正について）

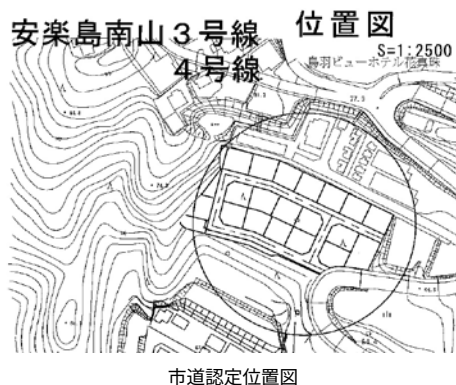
問 移住・定住促進の一環で第1項の「現に市内に住所又は勤務場所を有すること」を削除する意味は分かるが、市営住宅の入居は抽選ではないのか。

答 新築の市営住宅入居は抽選の場合もあるが、古い物件は余っている状態である。しかし、この要件のために断るケースもあった。

（議案第60号 鳥羽市道路線の認定及び変更について）

問 道路の管理について、開発許可を出した業者との協定内容はどうなっているのか。

答 開発行為終了後、5年間は開発業者の管理責任となる。5年後に団地の入居率が80%



以上の場合は市が管理するが、80%未満の場合は、最長10年までは業者が管理する。

予算決算 委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

新規事業の一例は―

移住相談支援事業	550万円
シングルペアレント移住・就業支援事業	254万円
地域就業促進事業	100万円
空き家活用促進事業	1380万円
定住促進住宅整備事業	1457万円

平成28年度当初予算は、編成基本方針にて「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる重点施策を推進する、地方創生本格稼働の予算である。

特に、市長が掲げる移住・定住元年と位置付けた各種の施策予算の拡充については、事業を

進めるうえで重要となる受入れ地区への理解、態勢を整えてもらい、適正かつ着実な執行を要望する。

事業の詳細及び施策の目指す目標値及び事業効果などについて質問や意見が交わされた。

- 平成27年度に立ち上げた空き家バンクへの登録を促進するための補助や、空き家を活用する移住者向け住宅の確保、また、中心市街地活性化事業。
- 訪日外国人観光客誘客、周遊のためのインバウンド整備事業。
- 鳥羽市への移住、定住に関する各種の取組みや、農業漁業への新規就労者の支援事業。
- 水産資源の確保、回復に取り組み種苗放流事業や沿岸漁場整備。
- 移住者の市内での就業を支援する地域就業支援事業や、新たに起業を目指す市民を支援する起業育成支援事業。
- 産業振興の面では、前年度に続き地域おこし協力隊事

業や地域水産物の6次産業化、高付加価値化への取り組み。また、海女文化の保存と情報発信事業。



シングルペアレント移住・就業支援事業

また、審議を進める中で、新規及び重点施策が目白押しだが、各所属の職員数を減らさざるを得ないなかで、職員一人一人の負担がかかり過ぎないのか、またそのような状況において重点政策に掲げる事業が遂行できるのか、などの意見があった。

討 論

河村 孝 議員

《賛成》

議案第39号 平成28年度鳥羽市一般会計予算

戸上 健 議員

《反対》

議案第76号 鳥羽市税条例等の一部改正について

《賛成》

請願第7号 TPP協定を国会で批准しないことを求める請願

人 事

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることに同意

濱田博文 氏(再任)

議案番号	議案名	議決日	審議結果	片岡直博	河村孝	山本哲也	木下順一	井村行夫	中世古泉	戸上健	浜口一利	坂倉広子	世古安秀	橋本真一郎	尾崎幹	坂倉紀男	野村保夫	
39	平成28年度鳥羽市一般会計予算	3月29日	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長につき表決なし	○	○	○	×	○	○	
40	平成28年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
41	平成28年度鳥羽市介護保険事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
42	平成28年度鳥羽市定期航路事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
43	平成28年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
44	平成28年度鳥羽市後期高齢者医療特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
45	平成28年度鳥羽市水道事業会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
46	鳥羽市特別職報酬等審議会条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
47	神島開発総合センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
48	鳥羽市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例等の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
49	鳥羽市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例及び鳥羽市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
50	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
51	委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
52	鳥羽市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
53	鳥羽市福祉医療費助成に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
54	鳥羽市農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
55	鳥羽市営住宅管理条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
56	鳥羽市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
57	鳥羽市火災予防条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
58	第五次鳥羽市総合計画後期基本計画の策定について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
59	鳥羽市辺地の総合整備計画の変更について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
60	鳥羽市道路線の認定及び変更について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
61	定住自立圏形成協定の変更について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
62	指定管理者の指定について（答志コミュニティセンター）		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
63	指定管理者の指定について（答志和具コミュニティセンター）		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
64	指定管理者の指定について（答志コミュニティアリーナ）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
65	指定管理者の指定について（鳥羽市民体育館他5施設）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

議案番号	議案名	議決日	審議結果	片岡直博	河村孝	山本哲也	木下順一	井村行夫	中世古泉	戸上健	浜口一利	坂倉広子	世古安秀	橋本真一郎	尾崎幹	坂倉紀男	野村保夫
66	平成27年度鳥羽市一般会計補正予算(第12号)	3月10日	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
67	鳥羽市職員給与条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
68	工事請負契約の締結について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
69	平成27年度鳥羽市一般会計補正予算(第13号)	3月29日	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
70	平成27年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
71	平成27年度鳥羽市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
72	平成27年度鳥羽市定期航路事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
73	平成27年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
74	平成27年度鳥羽市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
75	鳥羽市過疎地域自立促進計画の策定について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
76	鳥羽市市税条例等の一部改正について	3月31日	可決	○	○	○	○	×	×			○	○	○	○	○	
77	鳥羽市都市計画税条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
78	鳥羽市国民健康保険税条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
諮問3	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	
請願7	TPP協定を国会で批准しないことを求める請願	3月29日	採択	○	○	×	○	○	○			×	○	○	×	○	
発議9	TPP協定の国会批准をしないことを求める意見書の提出について		可決	○	○	×	○	○	○	○			×	○	○	×	○

議長につき表決なし

※一般質問、議案質疑の原稿は議員本人の文責です。

一般質問

これが聞きたい・ここが聞きたい

3月7～9日に6人の議員が一般質問を行いました。

質問と答弁の概要をお知らせします。



鳥羽を障がい者差別根絶都市に



戸上 健

市長

協議して

進めていきたい

問 障害者差別禁止法の目的は。

答 健康福祉課長 障がいのある方もない方も、ともに平等に生活していただけることを目的にしています。

問 アンケートの結果は。

答 健康福祉課長 障がいがあることで「嫌な思いをしたことがある」「少しある」と回答した率は身体障がいでは35・9%、知的障がいでは61%、精神障がいでは50・8%です。

問 わが鳥羽市を「障がい者差別根絶宣言都市」に。

答 市長 鳥羽市が先進的なことをやる、そして鳥羽市が好感をもたれる。これは大事なことだと思えます。しっかりと協議をしながら進めていきたい。

子どもの貧困対策を

しっかりと調査したい

市長

問 子どもの貧困の実態調査がない。きちんとやっていただきたい。

答 市長 しっかりと調査するようにしたい。

問 母子寡婦福祉会の要望と対応を。

答 市長 子どもの貧困にしても母子寡婦のことにしても、行政としても最も大事なことのひとつだと思います。これからも議会の皆さんと相談しながら改善していきたい。



貧困の実相を報じる新聞記事

ごみに関わる償還返済金の財源は



橋本 真一郎

市長

非常にすばらしい

提案だと思う

問 バイオマス発電事業によるごみの減量化にて持ち込み負担金の削減、答志島清掃センター運用延長による経費の削減等、ごみに関わる償還返済金の財源策として提案します。

答 市長 バイオマス発電事業は、ごみの資源化と地球にやさしい事業であり歓迎すべきだが、難しい問題も含んでいます。答志島清掃センターの稼働延長は、開設から22年経過しており、状況を見きわめ、どちらが有利なのか単年度に判断します。

簡易型感震ブレーカー設置補助は

副市長

できるかどうか検討を重ねたい

問 通電火災とは。

答 消防長 災害時に電気の供給が停止。その後、電気が復旧した時に電気器具に通電して火災が発生。さらに、ガス漏れや破損したコンセン

問 簡易型感震ブレーカーの設置補助は。

答 副市長 簡易型の感震ブレーカーにつきましては、広く市民に周知をしながら、設置していただくことを啓発し、設置の補助につきましては、国の補助金等も含めて先進地等を調査しながら、できるかどうか検討をさらに重ねていきたいと考えています。



震度5強で作動する感震ブレーカー

サミットの市の役目や 経済効果は



坂倉 紀男

市長

真珠と海女を

国内外へ発信する

問 百五経済研究所により、県内での経済効果は717億円と公表されました。伊勢志摩サミット開催決定以降、本市の役目や経済的な効果は。

答 市長 サミットを推進する市民会議の名称を「真珠養殖発祥のまち、海女が日本一多いまち」としました。真珠と海女は、これからの観光鳥羽にとって最も大事な要素であると考えています。これらのことを大いに発信することによって、経済波及効果として伸びてくると思っています。

日常生活支援総合事業とは

健康福祉課長

問 新地域支援事業のうち、新しい介護予防といわれる日常生活支援総合事業とは。



答 健康福祉課長

これまでの要支援1・1・2の方の介護予防付きサービスの種類、基準、単位は全国一律の基準となっていました。今後は、介護予防給付サービスの一部について、市が地域の実情等を踏まえたサービスの種類・基準・単位を独自で定める新総合事業となります。この総合事業は、遅くとも平成29年4月までに全ての市町村で実施することとされています。

鳥羽市の空き家は



井村 行夫

まちづくり整備担当副参事

1860戸です

問 鳥羽市の空き家件数は。

答 まちづくり整備担当副参事 鳥羽市の住宅総数は1万110戸であり、うち賃貸や売買のための空き家や別荘を除くその他の空き家数は1860戸となっており、宅総数に占める割合の18%となっています。

問 国の空き家特別措置法が施行され、従来の鳥羽市空き家等の適正管理に関する条例の改正は。

答 まちづくり整備担当副参事 特別措置法が施行された現在、法と条例の関係が二重規制となっている部分があり、今後改正するにあたり、二重規制となっている条項を削除して補完型とするのか、特別措置法を取り込んだ総合条例型とするのか、早急に結論を出していきます。

問 特別措置法第7条に、空き家対策計画の作成及び実施に関するための協議会を組織することができる

答 まちづくり整備担当副参事 空き家対策計画については、問題を解消するために企画財政課、農水商工課、税務課等と連携して取り組んでいます。協議会設置について、地域住民の代表、建築部門、法務部門、不動産部門等の有識者が参画する協議会を設置していく方向で検討しています。



雑草につつまれた空き家

市全体で危機感を持ち 取り組みを



山本 哲也

市長

補正予算を組んで でもやりたい

問 移住定住係の新設について市長の意気込みは。

答 市長 一番気がかりで残念なのは、やはり鳥羽市の人口が減っていくということだと思います。抜本的な改善ができるような状況にはなかったという中で、移住・定住、もうこれしかないという考え方でスタートしました。

問 係としての目標値は。

答 地方創生・企画経営担当副参事 明確には設定ありません。鳥羽の魅力をも十分に発信し、移住を希望される家族など、移住者のニーズに十分応えられるようにしていきたい。より多くの方々が移住されるように取り組んでいきたい。

問 受け入れ体制づくりはどのように進めるのか。

答 地方創生・企画経営担当副参事 移住相談会や窓口での相談などを通じて、移住を希望する方々の条



移住希望者をサポートする「ふるさと帰郷支援センター」

発達障害の相談窓口は



坂倉 広子

子育て支援担当副参事

総合子ども相談 ほっぷで対応

問 発達障害者支援法の施行より約10年。中身の理解はまだまだ難しく、親の育て方が原因だとか誤った考え方が散見されています。文部科学省の2012年調査によると、公立

答 発達障害者支援法の施行より約10年。中身の理解はまだまだ難しく、親の育て方が原因だとか誤った考え方が散見されています。文部科学省の2012年調査によると、公立小中学校の通常学校に通う児童生徒の6・5%に発達障害があると言われています。就学前の重要な時期である5歳児に対して実施していることはありますか。

答 子育て支援担当副参事 5歳児健診を行っているのと、子供の発達状況を複数の目で確認し、支援方針を検討する就学指導委員会を行っています。

問 保護者と学校の連携はどのようにしていくのか聞きます。

答 子育て支援担当副参事 支援の必要な子供が安心して一貫した支援を受けられる連携支援ツールのほっぷカルテを作成しています。



生活保護・高齢者のくらし・地域福祉・地域福祉の貸付等の相談を受ける暮らし相談支援センターとば

市長

ひきこもりの社会復帰支援を

就労を増やす努力をします

問 ひきこもりを抱える親が高齢化など不就労の状況が続く、果ては生活困窮に至る世帯が予想されます。支援体制について聞きます。

答 健康福祉課長 当事者や家族を社会から孤立させない。暮らし相談支援センターとばで相談支援を行っています。

問 インクルージョン教育※について聞きます。

答 教育長 障がいのある人、ない人が共に生きる共生社会を実現します。

※インクルージョン教育とは、初等教育や中等教育段階において、障がいを持った子どもが大半の時間を通常学級で教育する実践。
(ウィキペディアより引用 <https://goo.gl/5KA496>)



きらり輝く人達

今、きらりと輝いている鳥羽市出身の人達にスポットをあてる企画、今回はメゾソプラノ歌手の田中千佳子さんです。

プロフィール

たなちかこ
田中千佳子さん

京都市立芸術大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。在学時より学内外のコンサート、オペラに精力的に出演。滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール声楽アンサンブルの正規メンバーとして6年間活動。現在、ソロ登録メンバー。

9月10日(土)または11日(日)堺シティオペラ『ナクソス島のアリアドネ』にドゥリヤーデ(木の精)役で出演。詳しくは近日堺シティオペラのHPにて発表。

<http://sakai-city-opera.jp/>

12月23日(金・祝)『いせ第九コンサート』にアルトソロで出演。

—数々のオペラ公演に出演されていますが、オペラの魅力とは何ですか。

オペラは演者にとっては全身運動です。身体を使って発する声で劇場を満たし、その声で喜怒哀楽を表現、お芝居をします。自分の声を使って舞台上で「役を生きる」ことができるのが魅力です。舞台を終えるとヘトヘトになりますが、お客様の笑顔が喜びと、次に向けてのパワーをくださいます。

—公演で様々な場所に行かれると思いますが、現在の鳥羽市をどう思われますか。

鳥羽駅に着いた瞬間に磯の香りが感じられ、海と山の自然に恵まれた大好きな故郷です。帰省時には美味しいお刺身を楽しみにしています。観光地として関西では有名ですが、全国的にはもっと名前と土地を知ってもらえるよう情報発信ができればと思います。

—最後に、鳥羽市民にメッセージをお願いします。

現在では、鳥羽市内でもコンサートや展覧会、文化的な行事が増えていると耳にしています。私は「新しい情報の発信は自分の心の栄養」と信じ、様々なものを見に行く事が好きですが、是非そういった機会に足を運んでみてください。鳥羽の街が更に活気づくことを願っています。いつか鳥羽でコンサートを開催することが夢ですので、応援をよろしく願います。

編集後記

とば市議会だより第155号をお届けします。

3月の議会は平成28年度の事業予算を審議する大変重要な会議でした。議題も多く、各常任委員会報告、一般質問、質疑の内容をお届けするのにページ数も増えました。

さて、早いもので伊勢志摩サミット開催まであと25日となりました。本市には世界の首脳関係者が沢山お越しになります。この伊勢志摩サミットを市民一体となって、おもてなしの心でお迎えしましょう。

記 井村行夫



2月15日市老人クラブ連合会と市議会が意見交換

とば市議会だより編集委員会

委員長	坂倉広子
副委員長	山本哲也
委員	片岡直博
委員	河村 孝
委員	井村行夫
委員	浜口一利
委員	世古安秀